

年	組	名前
---	---	----

別府市内でイスラム教徒（ムスリム）と市民が相互理解を深める活動が広がっている。共同での清掃活動やイスラム圏の文化を体験できるイベントなどが開か

れ、ムスリムが祈りをささげる別府モスク（礼拝堂）も一般の見学を受け入れる。国籍や宗教を超えた多文化共生に向け、行政も橋渡しする。

イスラム教理解を

一緒に海岸の掃除をして交流を深めるイスラム教徒の留学生、地域住民、別府署員ら



ごみ拾い、文化体験…

市はイスラム圏の留学生らと「別府ムスリムフレンズ」クラブを立ち上げ、留学生対象の助成金を使ってハラール（イスラム教の戒律で許されたもの）に対応した飲食店などを紹介するマップ作製や、イスラム文化を紹介する行事の開催も支援する。

市文化国際課や別府モスクによると、市内には40人ほどのムスリムが暮らしている。「クラブは別府で生活する上で困らないよう、一緒に考える仕組みにもなる」と田北浩司課長。

別府モスクではアラビア語講座や食事会など市民にイスラム文化を知ってもらう行事を定期的に開いている。2001年から別府で暮らす別府ムスリム協会のカーン・ムハンマド・タヒル代表（立命館アジア太平洋大学教授、パキスタン出身）は「暮らしやすい環境

行政も連携、交流広がる

市と別府署は7月中旬、震災などの災害発生時の注意点を説明した。交流を深めようとして初めて実施したもの。留学生約20人が住民や署員らとごみを拾った。長は「互いに顔の見える関係が理解を深める第一歩に

別府市

別府市内でイスラム教徒と市民が相互理解を深める活動が広がります。

①「ムスリム」とは、どういう人たちのことでしょう。

.....

.....

.....

.....

(2015年8月27日朝刊11面)

②「モスク」とは、どういう施設のことでしょう。
「ハラール」とは何でしょう。

③イスラム教について調べてみよう。

.....

.....

.....

.....